⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①　平成22年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	10,385,251,644	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,385,251,644 （修繕費：4,598,083,191、災害損失：3,123,075,916、役務費：827,114,504、その他の経費：1,836,978,033） イ）資産の取得額：5,181,575,139 （機械・装置：2,327,605,025、建設仮勘定：1,196,946,000、工具・器具・備品：893,889,231、その他の資産：763,134,883） ウ）非償却資産の取得額：82,290 （その他の資産：82,290）
	資産見返運営費交付金	5,181,575,139	
	資本剰余金	82,290	
	計	15,566,909,073	

②　平成23年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	134,392,930,660	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：140,387,953,235 （職員等給与費：33,571,986,701、法定福利費：6,606,034,491、役務費：16,322,029,460、その他の経費：83,887,902,583） イ）自己収入に係る収益計上額：5,995,022,575 （廃棄物処理処分負担金収益：3,824,564,453、共同施設利用収入：155,394,963、ガラス固化技術開発施設収入：429,022,004、その他の収益：1,586,041,155） ウ）資産の取得額：12,943,361,904 （建物：2,043,287,743、機械・装置：1,292,701,479、工具・器具・備品：2,143,675,292、建設仮勘定：6,139,155,707、その他の資産：1,324,541,683） エ）非償却資産の取得額：7,388,453 （敷金・保証金：7,305,403、その他の資産：83,050）
	資産見返運営費交付金	12,943,361,904	
	資本剰余金	7,388,453	
	計	147,343,681,017	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成22年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	1,652,063,146	○全ての業務で費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、翌事業年度への契約済繰り越し及び前払い金等経過勘定によるもの。なお、本事業年度に実施すべき業務については、一部契約済繰り越しが発生しているが、中期計画で予定した業務に影響を与えるものではない。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化等する予定である。
平成23年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	10,557,663,983	○全ての業務で費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、翌事業年度への契約済繰り越し、契約差額が生じたことによる経費の減少等に伴い、運営費交付金の収益化額が計画を下回り翌事業年度に繰り越したもの及び前払い金等経過勘定によるもの。(注：運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) なお、本事業年度に実施すべき業務については、一部契約済繰り越しが発生しているが、中期計画で予定した業務に影響を与えるものではない。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化等する予定である。